

1. 能代市の現状と推移

(2) 商業

①買回品の地元購買率の比較

平成16年の能代市の買回品の地元購買率は82.6%で、秋田県内9市の比較では4番目である。平成13年と平成16年の9市の比較では、鹿角市を除く8市は減少している。減少率は、湯沢市が14.9ポイントと一番大きく、次が能代市で9.1ポイント低くなっている。

能代市の減少率は、調査した県内71箇所の商工会議所、商工会のなかでも5番目となっており、流出の割合は大きくなっている。

●買回品の地元購買率 (県内9市比較)

(単位:%・ポイント)

平成16年順位		地元購買率		
		平成16年	平成13年	比較増減
1	秋田市	97.2	97.5	△ 0.3
2	大館市	86.9	89.7	△ 2.8
3	横手市	83.1	90.5	△ 7.4
4	能代市	82.6	91.7	△ 9.1
5	本荘市	77.9	81.4	△ 3.5
6	鹿角市	70.2	67.8	2.4
7	大曲市	69.6	77.3	△ 7.7
8	男鹿市	57.2	60.9	△ 3.7
9	湯沢市	49.1	64.0	△ 14.9

(秋田県商工会連合会 消費購買動向調査)

②最寄品の地元購買率の比較

平成16年の能代市の最寄品の地元購買率は95.7%で、秋田県内9市の比較では、秋田市に次いで2番目で、県内でも地元購買率の高い地域である。平成13年と平成16年の9市の比較では、男鹿市を除く8市は減少している。減少率は横手市、大曲市に次いで、能代市は1.6ポイント低くなっている。

●最寄品の地元購買率 (県内9市比較)

(単位:%・ポイント)

平成16年順位		地元購買率		
		平成16年	平成13年	比較増減
1	秋田市	98.2	98.3	△ 0.1
2	能代市	95.7	97.3	△ 1.6
3	大館市	93.3	94.9	△ 1.6
4	本荘市	92.4	93.5	△ 1.1
5	横手市	87.3	94.2	△ 6.9
6	男鹿市	83.3	83.1	0.2
7	鹿角市	83.1	83.5	△ 0.4
8	大曲市	82.7	88.9	△ 6.2
9	湯沢市	74.7	75.3	△ 0.6

(秋田県商工会連合会 消費購買動向調査)

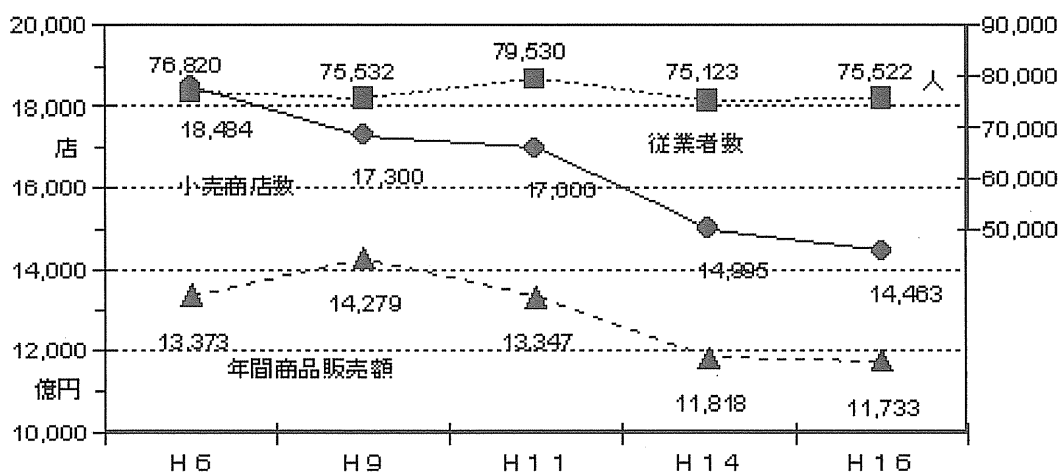
③秋田県内の小売商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

秋田県の商業統計によると、県内の小売商店数は平成6年の18,484店から平成16年には14,463店になり、約22%減少している。能代市では平成6年の950店から、平成16年は703店となり、約26%の減少となっている。

県内の小売業の従業者数は75千人を超えて横這いで推移している。平成11年にはピークに達し、79,530人であったが、平成16年には75,522人になり、約5%減少している。能代市では平成11年に4,237人であったが、平成16年は3,908人となり、約8%の減少となっている。

県内の年間商品販売額は平成9年にピークに達し、1兆4,279億円あったが、平成16年には1兆1,733億円になり、約18%減少している。能代市では平成9年に約816億円あったが、平成16年は約660億円で、約19%の減少となっている。

●秋田県の小売商店数・従業者数・年間商品販売額の推移



(秋田県商業統計調査)

●秋田県内9市の小売業の状況 (平成16年)

区分	小売商店数		従業者数		売場面積		年間商品販売額		売場1㎡あたり年間商品販売額		従業員1人あたり年間商品販売額	
	(店)	県内での割合	(人)	県内での割合	(千㎡)	県内での割合	(億円)	県内での割合	(万円)	順位	(万円)	順位
秋田県	14,463	100.0	75,522	100.0	1,553	100.0	11,733	100.0	75.6		1,554	
秋田市	3,346	23.1	21,997	29.1	447	28.8	3,740	31.9	83.7	1	1,700	2
能代市	703	4.9	3,908	5.2	91	5.9	660	5.6	72.5	5	1,689	3
横手市	663	4.6	4,297	5.7	104	6.7	701	6.0	67.4	8	1,631	6
大館市	823	5.7	5,019	6.6	110	7.1	775	6.6	70.5	6	1,544	7
本荘市	695	4.8	3,932	5.2	78	5.0	645	5.5	82.7	3	1,640	5
男鹿市	392	2.7	1,979	2.6	54	3.5	291	2.5	53.9	9	1,470	8
湯沢市	520	3.6	2,792	3.7	57	3.7	395	3.4	69.3	7	1,415	9
大曲市	866	6.0	3,774	5.0	83	5.3	670	5.7	80.7	4	1,775	1
鹿角市	487	3.4	2,293	3.0	46	3.0	381	3.2	82.8	2	1,662	4

(平成16年 秋田県商業統計)

(4) 雇用

平成17年度の県内各ハローワークの有効求人倍率では能代管内は0.47倍となっており、角館管内と同じで、県内7番目となっている。また、平成18年12月の常用パートの有効求人倍率は、能代管内は0.69倍で県内10番目となっている。

●秋田県内の有効求人倍率

〈平成17年度〉

(単位:倍)

順位	区分	有効求人倍率
1	秋田管内	0.63
2	大館管内	0.62
3	大曲管内	0.56
4	横手管内	0.52
5	鹿角管内	0.51
6	本荘管内	0.49
7	能代管内	0.47
7	角館管内	0.47
9	男鹿管内	0.46
10	湯沢管内	0.45
11	鷹巣管内	0.43
	秋田県	0.57

●常用パートの有効求人倍率

〈平成18年12月〉

(単位:人、倍)

順位	区分	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
1	男鹿管内	182	148	1.23
2	横手管内	638	522	1.22
3	秋田管内	2,659	2,357	1.13
4	本荘管内	416	386	1.08
5	大館管内	560	540	1.04
6	湯沢管内	269	259	1.04
7	鹿角管内	147	175	0.84
8	鷹巣管内	98	119	0.82
9	大曲管内	300	437	0.69
10	能代管内	314	458	0.69
11	角館管内	125	211	0.59
	秋田県	5,708	5,612	1.02

(県内各ハローワーク調)

(5) 市民所得

1人当たり市町村村民所得を県内9市の比較でみると、平成15年度は、能代市は2,275千円/人で6番目となっていたが、平成16年度では2,221千円/人で4番目となっている。

●1人当たり市町村村民所得 (秋田県・県内9市比較)

(単位:千円/人)

順位	区分	平成16年度	平成15年度	比較増減
1	秋田市	※ 2,848	2,914	0.98
2	横手市	2,494	2,604	0.96
3	大館市	2,356	2,296	1.03
4	能代市	2,221	2,275	0.98
5	本荘市	※ 2,196	2,527	0.87
6	大曲市	※ 2,114	2,500	0.85
7	湯沢市	※ 1,972	2,205	0.89
8	鹿角市	1,972	2,031	0.97
9	男鹿市	※ 1,830	1,999	0.92
	秋田県	2,297	2,343	0.98

(秋田県市町村村民経済計算年報)

※平成16年度のデータは平成17年3月31日現在の市を単位として計算されており、市町村合併で変更になった市のデータで比較している。